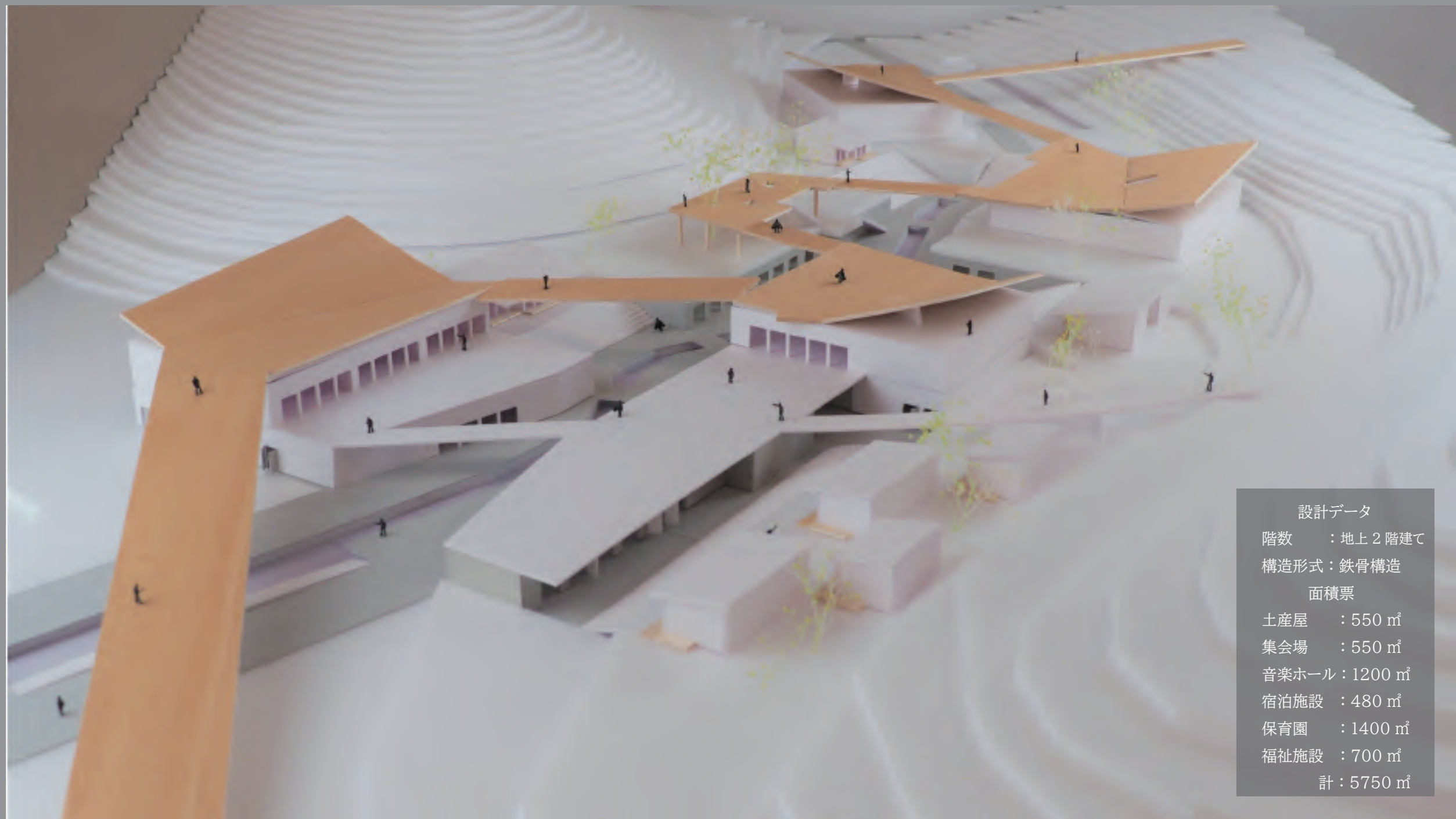


3年後期
建築設計 B2 第1課題
〔法多山門前町の再生〕

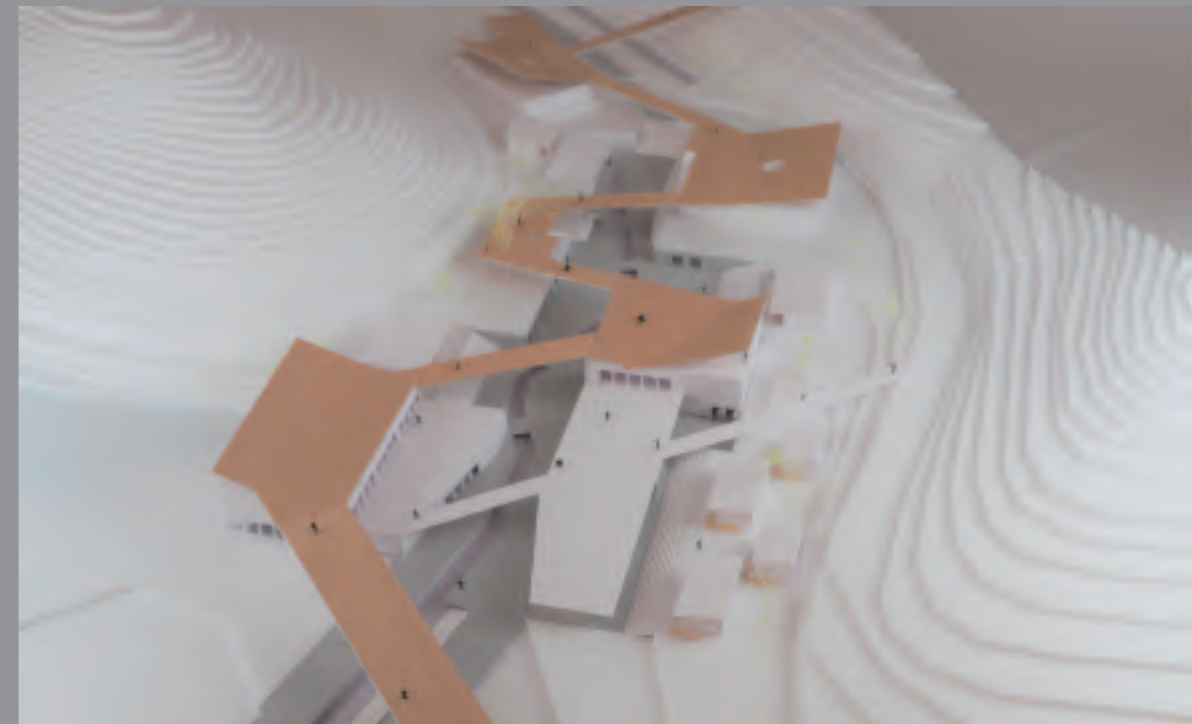
居場所を編み出す 架け橋

設計コンセプト

袋井市は子供が生まれたきっかけに自然を求め都会から移住してくる家族が多い。そこで大自然に囲まれた法多山門前町に保育園と福祉施設を複合させ、なおかつ寂れてしまった商業施設との連携を図る。この場で育つ子供たちが自然とともに成長し、自分が高齢になった時、福祉施設利用者の方と遊んだ楽しかった記憶が、この地へ呼び戻し福祉施設へ入所するきっかけとなることだろう。本計画は将来的に法多山周辺に住んでもらう、または将来この地に戻ってきてもらうことで法多山門前町が再生することを期待し提案する。



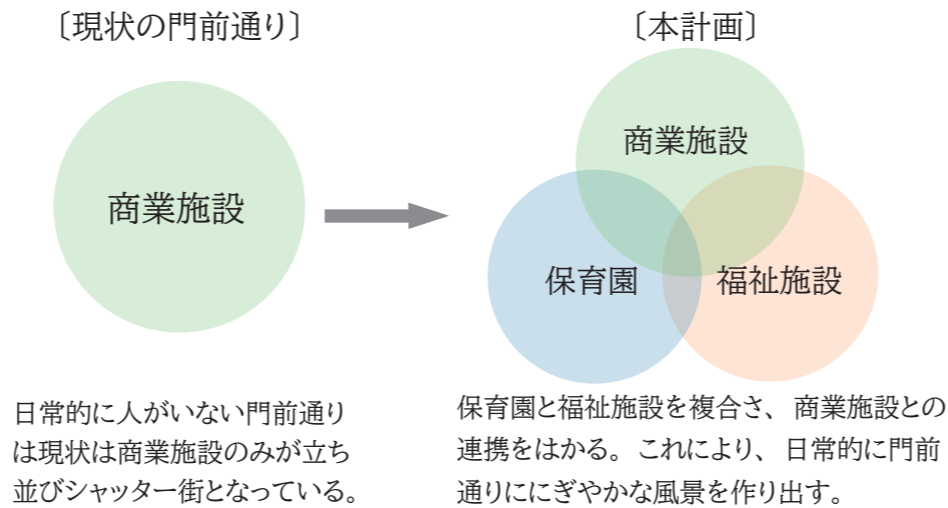
| 設計データ | |
|-------|-----------------------|
| 階数 | : 地上2階建て |
| 構造形式 | : 鉄骨構造 |
| 面積票 | |
| 土産屋 | : 550 m ² |
| 集会場 | : 550 m ² |
| 音楽ホール | : 1200 m ² |
| 宿泊施設 | : 480 m ² |
| 保育園 | : 1400 m ² |
| 福祉施設 | : 700 m ² |
| 計 | : 5750 m ² |



No.1 法多山門前町 現状の問題点

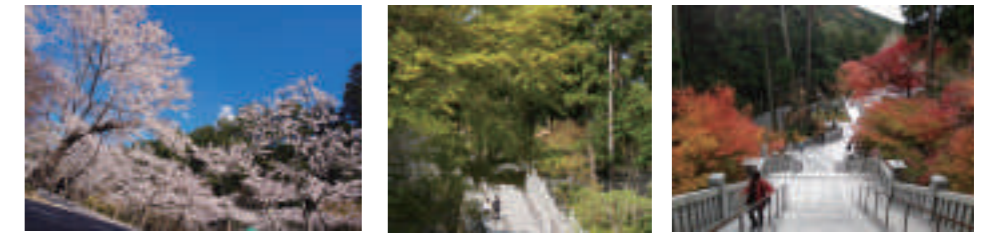
- ・行きも帰りも同じ動線しかなく参拝者に選択の自由がない。
- ・飲食店や土産屋はあるものの、道自体にくつろげる場や座れる居場所がない。
- ・イベントをやっていない時は何もなく、日常的に人がいない。
- ・周辺は山々に囲まれて自然豊かな場所だが、建物により自然を間近に感じられない。
- ・既存の建物により小川が隠れてしまっている。

No.2 公共施設と商業施設の連携



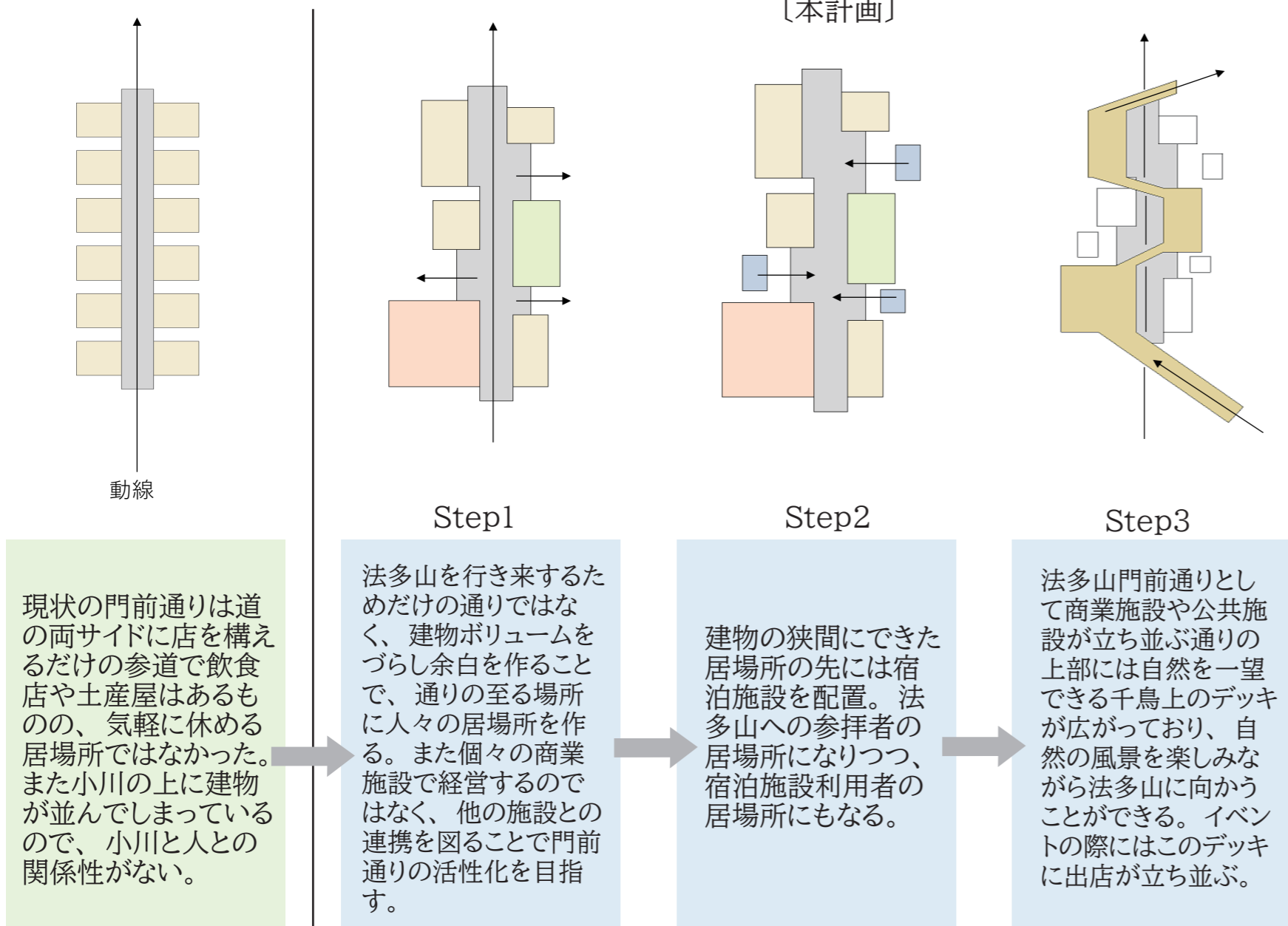
No.3 法多山 尊永寺の自然

袋井の豊かな森に囲まれた法多山は仁王門をはじめとした四つの文化財がある。悠久の自然と歴史、伝統文化を未来へつなぐ場として密教を進行している寺である。

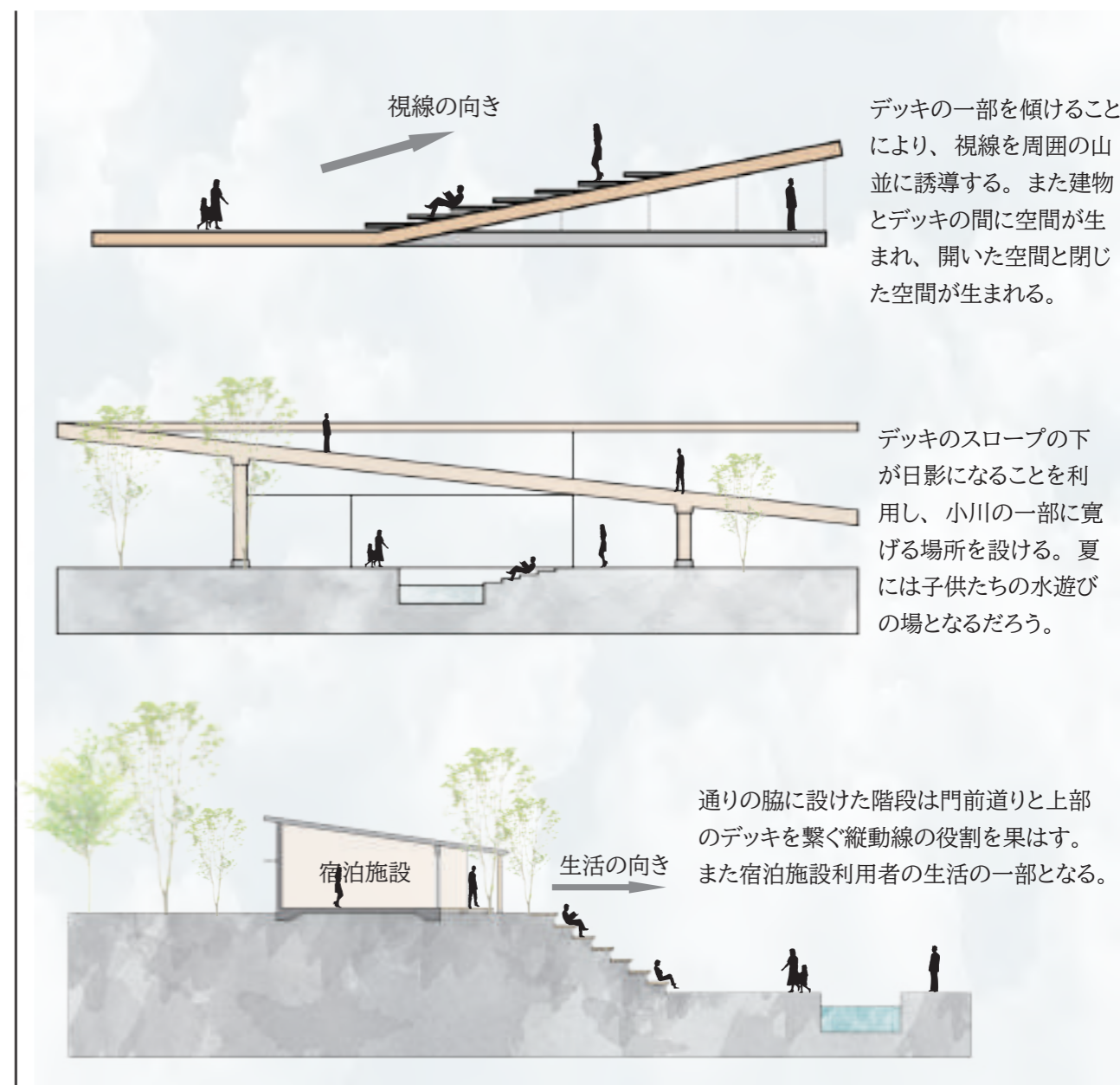


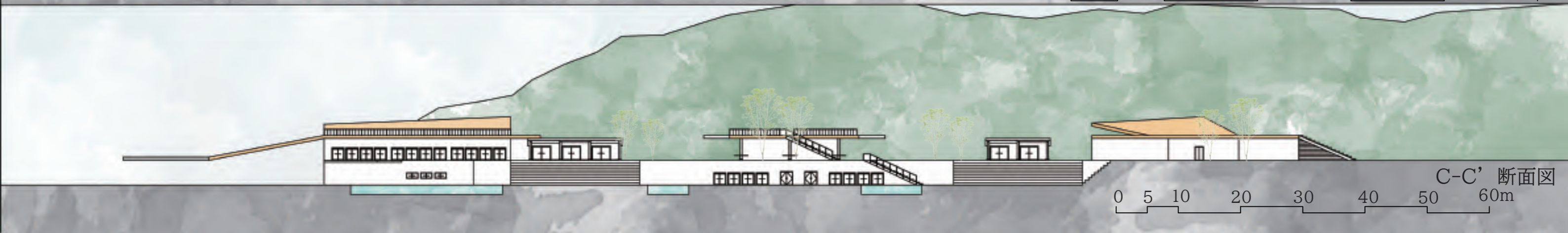
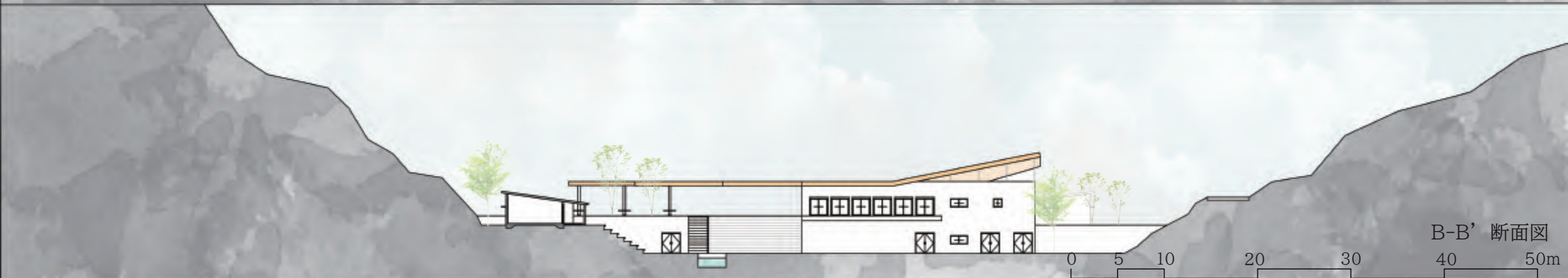
仁王門を通ると法多山の自然が広がる。しかし現状の門前町は建物により、周囲の自然が隠れてしまっている。そこで自然との連続性を重視し、風景を切り取るような建築を提案する。

No.5 平面計画



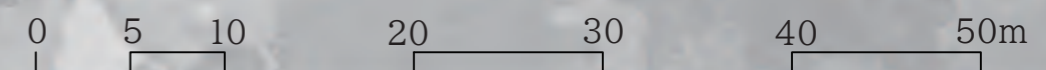
No.6 外部計画

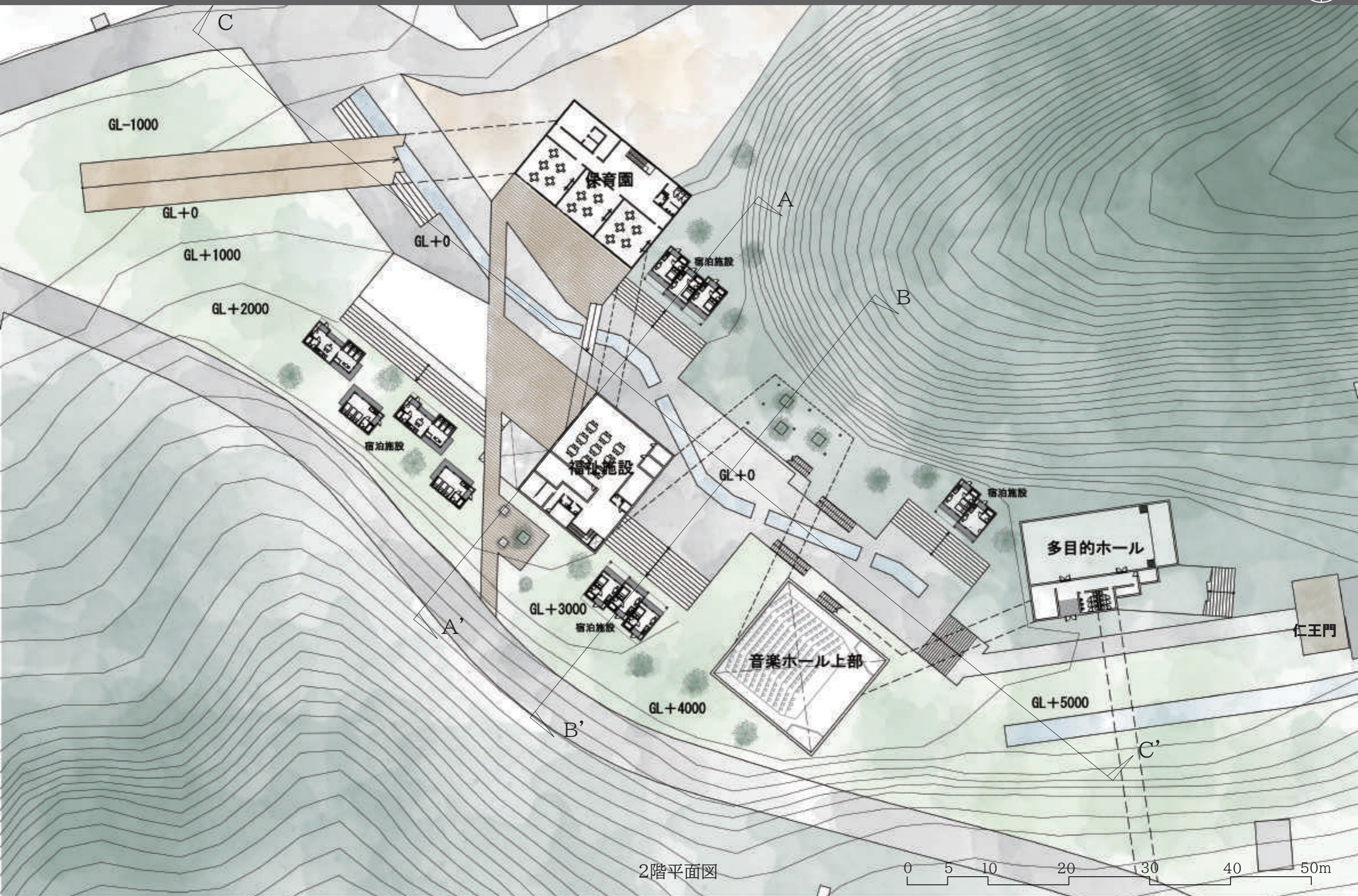






1 階平面図





2階平面図

